

【ストレングス・ファインダー・ワーク シヨップ(1日版)】に、ご参加頂いた 皆様のご感想集

人の特性や強みを知るために、これまで様々なツールを学んできましたが、その中でも最強だと感じました。また、筍のようにむくむくと湧いてくる質問に、紀藤さんはいつもの確に答えを返して下さり、内容が腹落ちしました。

■「これまでに参加した他のワークショップとの違い」

人の特性や強みを知るために、これまで様々なツール(※)を学んできましたが、その中でも最強だと感じました(※エニアグラム、エゴグラム、ソーシャルスタイル、四柱推命、ウェルスマイナミクス、タイヘキ等)。

なぜこれほど、人の特性を的確に表現できるのか？ストレングスファインダーが生まれた経緯を知って、納得できました。また、筍のようにむくむくと湧いてくる質問に、紀藤さんはいつもの確に答えを返して下さり、内容が腹落ちしました。

■「気付いたことや深く学んだこと」「決意したこと」

自分が使いこなせない素質に対し、いい意味での「諦め」がつかしました。

これまで膨大な時間を、上位ではない素質を磨くことに投資(浪費?)をしてきたのだとわかりました。それはストレングスファインダーの真価を知るために必要な経験だったと感じています(運命思考)。今後は上位の素質、特に自分にとって当たり前すぎて放置していた素質を磨くことに投資しようと決めました。

■「今後活用できると思ったこと」

一緒に受講していたが、20年間、日記を書いてきたとシェアしていただきました。「人間性」と「影響力」の素質が上位にある方が内省という異なる素質を掛け合わせることで、上位の素質に磨きをかけ、結果として幸福度が高まったというお話がとても参考になりました。素質単体ではなく、戦略的に掛け合わせていこうと思いました。その際、上位の素質だけでなく、上位素質の強化アイテムとして場合によっては中位の素質も使っていき、具体的には未来志向に達成欲と目標志向を掛け合わせていこうと思いました。

■「特に印象に残ったこと」

中位の素質はあてはまる部分もあり、結構、使っていることがわかりました(共感、リスクを最小化するために自己開示を避ける、「自分はなんとかなる」と根拠なき自信がある、個々の特性に目が行く、話に入れない人がいると引き入れなくなる)

紀藤さんのお話にあった「全体の活用度を上げることで、中位の特性も高いレベルで活用できる」という視点が新鮮で、ぜひそうしようと思いました(欲張りなため)。

(次ページへ続く)

■「これから行動しようと思うこと」

- ・未来志向を強化するために自分会議の時間を定期的にとる(スケジュールブロック)
- ・未来志向⇒目標志向に落とし込みをする。達成に向けて戦略性を発揮する。最上志向で達成欲を刺激する。
- ・(対人)未来志向×着想×最上志向で接する人のよりよい像をイメージして、それを伝える、刺激する。その際、収集心で集めたアイテムを差し出す
- ・新しく立ち上げるプロジェクトで自分の特性を開示する、実行性の弱さを補ってくれる人を探す
- ・分析志向の同僚と話すときは、意識して合わせる
- ・新しいトップの素質を見極めて、相手に合わせた出し方をする

■「ワークショップへの参加を迷われている方へのメッセージ」

紀藤さんはストレングスファインダーという奥が深い世界を案内してくれる名ガイドです。参加を迷われている方は、早めに一度は受けておくことをお勧めします。自分にとって何が投資なのか、それとも浪費なのか(=投資のつもりでもあまり効果が期待できないのか)。それを見極める視点が身に付きます。

R・M さま (人事)

■研修の内容はこちらからご覧いただけます■ ⇒<https://www.c-courage.co.jp/service/strengths-finder/>

■企業導入事例はこちらからご覧いただけます■ ⇒<https://www.c-courage.co.jp/work/answer-2/>

ワークショップに参加することで自分以外の、また自分の日常の関係以外のいろんな立場の方の資質がいかに違うか、全体を学び、グループで対話できたのが特に勉強になりました。

いろんな方からオススメされながらも
質問に答え分析するのが面倒でずっと先送りしていた
『ストレングス・ファインダー』を今回の紀藤さんのワークショップをきっかけに
やっと実行することができました。

また個人的にちょうど「セルフ・マネジメント」を学んでいる中、
自己認識の一環として、というのもありました。

やってみて思ったのは

『ストレングス・ファインダー』は一人で診断を受けても
資質の解釈が難しかったらろうということです。

それがワークショップに参加することで
他の参加者の方とも資質をシェアしますので、
自分以外の、また自分の日常の関係以外の
いろんな立場の方の資質がいかに違うか、
全体を学び、グループで対話できたのが特に勉強になりました。

さすがに1日のワークショップで
『ストレングス・ファインダー』での学びを
武器として明確に扱えるとは思いませんが、
勝手に湧き上げる自分のエネルギーの方向性を
タグ付けできるだけでも
自己認識がしやすくなりそうだと感じています。

また、紀藤さんは『7つの習慣』にも造詣が深いので
他の参加者の方の質問に答えるかたちでしたが
『ストレングス・ファインダー』の才能や資質と、
『7つの習慣』でいうところの人格との捉え方を、
まだ知識がバラバラで脳内で地図ができていない状態でしたので
お聞きできてよかったです。

■研修の内容はこちらからご覧いただけます■ ⇒<https://www.c-courage.co.jp/service/strengths-finder/>

■企業導入事例はこちらからご覧いただけます■ ⇒<https://www.c-courage.co.jp/work/answer-2/>

この2つ関わりは他のセミナーでは聞けないところかな、と思いました。

資質の強み使い・等、
まだまだ自分事として簡単には使い切れないというのが
正直なところですが、学びの端緒と思い新しい武器として
『ストレンクス・ファインダー』を活用していこうと思います。

ぜひ上位ワークショップもよろしくお願いたします。
ありがとうございました！

A・Mさま(デザイナー)

紀藤さんの素晴らしいと感じたところ(ありがたきと技術)

- ①参加者にとって安心な場を作る ②参加者にもれなく参加してもらう
- ③参加者に少しでも貢献する ④豊富な比喻 ⑤溢れるエネルギー ⑥より高みを目指す

昨日はストレンクス・ファインダーのワークショップを
受講させていただき、有り難うございました。

昨日の感想です。

紀藤さんの素晴らしいと感じたところ(ありがたきと技術)

- ①参加者にとって安心な場を作る ②参加者にもれなく参加してもらう
- ③参加者に少しでも貢献する ④豊富な比喻 ⑤溢れるエネルギー ⑥より高みを目指す

私が今日から実践することです。

- ①関係企業と共に No1 となる領域を決め、実現に向け協働する
- ②内省・内観の継続 ③週1回以上、自然の中で30分以上過ごす

K・Hさま(会社経営)

■研修の内容はこちらからご覧いただけます■ ⇒<https://www.c-courage.co.jp/service/strengths-finder/>

■企業導入事例はこちらからご覧いただけます■ ⇒<https://www.c-courage.co.jp/work/answer-2/>

素晴らしさは一つではない、そこがとても面白いですね。

強みにつながる資質であれば開示に関する心理的な抵抗もなく、お互いを認め、高め合うことができると思いました。

<気づき>

参加されていた方が、それぞれ違う資質の順位を持ちながら、みんな魅力的で素晴らしかったです！

素晴らしさは一つではない、そこがとても面白いですね。

個人と組織の成長のためには、自己と他者を理解し受容することが重要と思いますが、強みにつながる資質であれば開示に関する心理的な抵抗もなく、お互いを認め、高め合うことができると思いました。

エニアグラムについても、特性に優劣がないという点では同様です。ストレングスファインダーは、データに裏打ちされた判定の確かさという優位性はあるものの、資質を強みとしてもらうためメンバーをサポートするには、SFに対する理解を深める必要があるかと思います。SFを相互理解の共通言語とできるかどうか、その点ではエニアグラム以上の難しさがあると感じました。

自分自身に関して言うと、自分はHSPっぽいと感じておりまして、初対面の人とすぐに打ち解けるのが苦手です。今回の結果でもそれがよく出ていました。人前で話すこと、利害関係者との調整については場数を踏んだお陰か対応できているものの、社交性やコミュニケーションが上位資質にある方に比べると、それなりの苦勞を経て今があると思います。

この苦勞して乗り越えた経験を、個別化や成長促進といった上位資質と組み合わせることで、メンバーに寄り添った自分ならではの働きかけができるのでは？というか、今もそんな感じだよなあと改めて思いました。

下位の資質に引け目を感じることは不要ですね。自分を受容する勇気をもった気分です。

<今後について>

部内のメンバーに、ストレングスファインダーを展開したいです。エニアグラムで自己認知・相互理解の下地はできていると思いますので、SFを導入することで今までの流れをさらに加速させていきたいです。

K・Iさま(人事)

「強みとは『日陰にある陽時計』のようなものであり、目を凝らさないと見えないもの」であるという言葉が「バラつき」と「目を凝らさないと見えないもの」が「強み」により活かされる感じました。

昨日はお世話になり、ありがとうございます。

少人数であったがゆえに、非常に中身の濃い研修だったのが嬉しかったです。

昨年10月～12月にグロービスの「人と組織のマネジメント基礎編」を受講しました。

そこで、「人にはバラつきがある」という言葉に震えを覚えました。

「個性」と言ってしまうととても綺麗な言葉に感じ、打ち手を考えることをしないと思いますが、「バラつき」と聞いた瞬間に、一人一人に対しての打ち手が必要になると感じました。

今回の研修において、冒頭、紀藤様より、

「強みとは『日陰にある陽時計』のようなものであり、目を凝らさないと見えないもの」であるという言葉が「バラつき」と「目を凝らさないと見えないもの」が「強み」により活かされるものと感じました。

また、「自分を動物に例えると？」において

「職場は動物園のようなもの」という事にもなるほど、と思いました。生まれ、育ち、性別、性格、草食系、肉食系、雑食系、、、etc.

これぞ「バラつき」の最たるもので、それぞれが持ち場立場で生きている意味を噛みしめ、幸せに感じ、時にはつらい思いをすることもあるかもしれませんが、

それも人生経験と思えるような素晴らしい生き方をするのに「バラつき」における「強み」を知り、それを結果、成果に表れるようにすることが大事と感じました。

私の強みの No.1 が「慎重さ」、No.2 が「責任感」で双方とも資質を比較しているのが「活発性」になります。

真逆の事ではあるのですが、実は私自身、せっかちなところも

■研修の内容はこちらからご覧いただけます■ ⇒<https://www.c-courage.co.jp/service/strengths-finder/>

■企業導入事例はこちらからご覧いただけます■ ⇒<https://www.c-courage.co.jp/work/answer-2/>

あり、それは営業時代にお客様からも言われたことです。
あるところまでは慎重なのですが、あるところから
急にせっかちになってしまうところがあります。
せっかちが出過ぎてしまいそうになると、慎重さと
責任感で抑えようとする自分もいます。

昨日の研修で気付いたのは、何度も行ったり来たり
するのではなく、ある程度、理由付けができるところまで
考え、「極力最短で、極力最大の結果・成果を出す」事を意識しているのかと。

そのような事を気付かしてもらえる、資質が 34 個もあるので、
もっともっと勉強して、仕事や私生活で活かしていければと思います。

H・H さま(人事)

現在メンタルダウンしてる心が和らぎ活力がでました。ストレングスファインダーは真の自分に近づくきっかけになります。

■「特に印象に残ったこと」

- ・強みを使うことが効果性が高い。データの裏付けにより納得度合いが高かった。
- ・1番の強みは、今自分が不得意と思っていることでした。

■「今後活用できると思ったこと」

- ・自己理解への活用。自分の強みや才能をしらなかつたり、理解(活用)できていないので、まずは客観的(統計)な面で自分を知り、行動へのきっかけや裏付けになる

■「決意したこと」

- ・相手の強みを具体的に伝えていくこと。相手に話す時は、比喩を使っていくこと

■「これから行動しようと思うこと」

- ・「弱み使い」より「強み使い」になりたいと、強く思いました。

■「これまでに参加した他のワークショップとの違い」

- ・ポジティブな雰囲気強い。今回参加された方全員が、強みに焦点を当てて発言されるのでお互い刺激しあい、ポジティブ感情を引き出す

■「ワークショップへの参加を迷われている方へのメッセージ」

ぜひ、参加してください。参加することは行動の第一歩になり、自分の得たいことに近づく。わたしは参加して良かった。そのままの自分で参加しましたが「とてもストイックな人ですね」とFBしてもらい、現在メンタルダウンしてるところが和らぎ活力がでました。脳を刺激していることはたしかに感じました。ストレングスファインダーは真の自分に近づくきっかけになります。

K・Mさま(人事)

■研修の内容はこちらからご覧いただけます■ ⇒<https://www.c-courage.co.jp/service/strengths-finder/>

■企業導入事例はこちらからご覧いただけます■ ⇒<https://www.c-courage.co.jp/work/answer-2/>

・組織でストレンクス・ファインダーを活用したいので、ソリューションをご相談させていただきたいです。今後ともよろしく願いいたします。(斎藤周一様)

・自分の行動の「理由」が見えました。面白かったです。応用編も受けたいと思います。(中島亮様／株式会社カクタ 取締役)

・ポジティブという資質に気づくことができました。今後はこの資質を伸ばすため、目標と行動計画を立てていきたいと想います。”より良い自分になれる“という言葉は響きました。(山本大介様／FujiyamaComapany 代表取締役)

・自分の診断結果について、深く理解することができました。自分の強みがわかると同時に、自分は自然に出来ることが他の人にはそうではないことに改めて気づいて、今後、人との関わりにおいて、気をつけようと思いました。自分が持っていない資質について、生の声での実例を聞けて、他の人を理解するのに役立つな、と感じました。

・学び、気付きの多い1日でした。自分自身と向き合えて今後の生活が変わると思います。

知る事、聞くことが多々あり、参加することでしか得られないことがありました。強みを伸ばすため、資質 TOP10 から自分にとってあったものを意識していきます。

今日の学びを踏まえて、もう1度34の資質を見直す時間を取り、今後の行動に活かして行きたいと思います。久々にお会いさせていただき、ご活躍されている姿を拝見し、非常に刺激になりました。もっともっと自分自身も良くしていく、成長していかなければと感じました。

(H・Sさま)

・参加者のみなさんが、とても良い方ばかりで楽しく過ごすことができました。若い方がしっかり学ぼうとしている姿を見て、自社の社員を同じように前向きにするにはどうしたら良いかを考えてしまいました。本日は良い刺激を頂きました。ありがとうございました。

(H・Tさま)

価値観の整理、自分の成功パターンが的確になりました。『未来志向』で絵を描き、『自我』『自己確認』によりモチベーションを上げ、『目標志向』で明確にし、『個別化』『アレンジ』を活用して、実行作を設定し、ポジティブなストーリーを重視したコミュニケーションによりメンバーへ落とし込み、成功へ導く、ということがわかりました。

『競争性』については、競争相手を探しているわけではないですが、個別かも当て目標としているのだと認識しました。意識することにより、効率よく自分を高めているのだと思います。ありがとうございました。

(M・Hさま)

■研修の内容はこちらからご覧いただけます■ ⇒<https://www.c-courage.co.jp/service/strengths-finder/>

■企業導入事例はこちらからご覧いただけます■ ⇒<https://www.c-courage.co.jp/work/answer-2/>

・1人1人の強みや考え方は、全く違うという事に改めて気が付きました。もっと色々な人の話を聞いてみたいと思いました。個別化の強みを生かすために、傾聴を勉強しようと思います。長所と短所は紙一重というので、長所をどこまで伸ばしていくのかバランスをとる方法も知りたいです。ありがとうございました。

(R・Mさま)

・資質 TOP5を見たときは、何故これらの資質が選ばれたのか疑問でしたが、セミナーに出て、その理由がわかりました。これらをどう活かしていくか、考え実行していきたいです。また今まで上手く言った要因は、これらの資質が貢献している事がわかりましたが、今後伸ばしていきたい資質があるので、どちらもがんばります。

(宮尾大吾さま)

・限られた資源をどこに投資するか、ということから、強みを伸ばすことでよりよい人生になると思います。診断前に認識していた強みを今回のワークショップで言語化でき、以前より理解が深まったように思います。ワークショップで参加されている方のお話を聞きし、同じ考え(才能/資質)を持っている方はいないということに改めて知り、勉強になりました。

(E・Uさま)

・「彼を知り己を知れば百戦殆うからず」という言葉がありますが、己を知るための第一歩として、このセミナーは非常に役立つものでした。薄々気づいていた自分の強み、才能が改めて言語化されると、より納得感もあります。教育には2通りある。優秀を最優秀に(『最上志向』)。劣等生を標準に(『成長促進』)。この2つを知ることができ、改めて自分はどちら側の教育をやりたいのか、もっと考えたいと思います！ありがとうございました！

(尾崎智史さま)

・各資質に良さがあり、弱みを克服する事にはフォーカスしなくても良いことが気が楽になりました。それぞれのモチベーションの上がり方も違うことに気づけたので、これからは『個別化』の資質があがれたら良いなとは思いました。共感性が高いので、空気を読まない発言をする方がいると、ヒヤヒヤするのですが、他の方はあんまり気にしないようだったことに驚きました。本日は、ありがとうございました。

(Y・Sさま)

・強みを生かす、ということが、これからの時代は更に求められてくることであり、生産性にも直結するのだとよくわかりました。1つ1つの資質を、該当する参加者の方に発表していただくことで、とても良く理解でき、ふむふむとうなずきながら、楽しく学ぶことができました。

(I・Yさま)

■研修の内容はこちらからご覧いただけます■ ⇒<https://www.c-courage.co.jp/service/strengths-finder/>

■企業導入事例はこちらからご覧いただけます■ ⇒<https://www.c-courage.co.jp/work/answer-2/>

・「なぜ」ストレンクス・ファインダーなのか、からの「☆」のメッセージで、一貫してストーリーが頭に入りやすかったです。強みによりフォーカスしてのセッションは人生初なので、戸惑いはあったが、人生をより効果的にするためにとても有効なツールだと感じました。(2年前に本を読んでいたが、理解し実行するまでに至っていなかった)組織で共通言語にできれば、より強くなると思いました。ありがとうございました。

(Y・Oさま)

・正直、事前の100問以上の回答も長いなー、とっていたり、1日ばかりかぁ・・・とっていましたが、本当に来てよかったです。ふだんは自分のダメなところにばかり目がいてしまいますが、今日は視点が変わって、資質を強みにしていくことが自分がやるべきことだと感じました。最後に、同じテーブルの皆さんから頂いたフィードバックのおかげで、より自分を肯定することができ、合点したこともありました。本当にありがとうございます！！

(F・Wさま)

・最後のワーク、「強みのフィードバック」で感動して泣いてしまいました。席替え後、3時間くらいしか一緒にいないテーブルの方が、こんなにも自分を見て才能を褒めてくださるなんて、感動しかありません。本当にありがとうございました。(泰子さんからアドバイスを頂き、ポーナステ이블で本当にラッキーでした)

(水上久美子さま)

・自分が持っていない資質を理解するのが難しかったが、資質を実際に持っている人と関わることでイメージできるようになった。「資質を憎んで、人を憎まず」という言葉が印象に残っている。資質のTOP10をうまく活かせるようになりたいと思う。最後に、自分の資質を褒めていただく機会があり、自分の資質がより好きになった。同じ資質を持つ人と、「資質あるある」を話したらおもしろそう。

(N・Sさま)

・自分の資質、強みとしての活かし方を認識し、実行ストーリーができました。ありがとうございました。周囲のメンバーの資質が異なるため、強みを全開に出していくと障害や摩擦が起きそうと考えていますので、この点をどう克服するかが課題です。

(S・Tさま)

・ストレンクスファインダーを受けるだけでは理解が難しい部分を、ワークを通じて具体的な話も交えて頂いたことで深まりました。また自分の強みに自信を持つきっかけにもなったと思い

■研修の内容はこちらからご覧いただけます■ ⇒<https://www.c-courage.co.jp/service/strengths-finder/>

■企業導入事例はこちらからご覧いただけます■ ⇒<https://www.c-courage.co.jp/work/answer-2/>

ます。自分もそうですが、周りの強みにも目を向け、仕事にもプライベートにも活かしたいです。まずは自部署のメンバーにもテストを受けてもらい、相互理解を深めたいと思います。

(T・S さま)

・自分の強みや良さを見つめることが本当に苦手で、研修を終わった今も苦手な意識は変わってはいませんが、研修前より自分をポジティブに捉えられるようになりました。それは、紀藤さんが最後に言われていた、「才能を生かすことが世の中のためになることだ」ということが納得言ったからです。本当に自分を成長させるさらにいいきっかけになりました。本当にありがとうございました。

(若尾優子さま)

・本日のセミナー、休日に出てきて良かったです。書籍では納得できなかった部分を解消することができました。ツール(適正検査)をどう生かすか、これまであまり意識してこなかったのですが、今回のセミナーを受講し、受けっぱなしは良くないなと思いました。

ツールで得た結果をどう生かすか、今回のセミナーで学んだことを持って試したいです。

良い生かし方ができるよう、本日の資料も改めて自宅で読みますね。本日はありがとうございました。

(A・M さま)

・非常に楽しく学びました。身近な人にも紹介し、各人の資質について語り合いたいです。これからの生き方の指針にします。資質の内容を理解することで、自分のTOP5の組み合わせを好きになれました。上位の資質をより理解して、自分を進化させていきます。他人と対比することで、自身の資質の特徴がはっきりしました。自分にはないけれど、ほしいと思う資質もありましたが、このままで良いんだと勇気が出ました。

(Y・E さま)

・10年前、本を買ってストレンクス・ファインダーやってみたが、結果の妥当性もよくわからないまま、放置していました。今回機会を与えて頂き、素晴らしいメンバーにも恵まれ、才能・資質・強みにじっくり向き合うことができました。得られた気づきに栄養を与え、強みを育てて行きたいと思います。ありがとうございました。今後とも、よろしく願いいたします。

(G・N さま)

・自分自身を深掘りするキッカケとなりました。このワークショップで学んだことは、今後絶対に取り入れていきます。資質1位の『慎重さ』はまだピンとこない部分があるので深掘りします。ストレンクス・ファインダーは家の中で1人出するのではなく、他人とシェアしたり、フィードバックをもらったり、他人を知ることが重要だと思いました。TOP5しか判定していないので3

■研修の内容はこちらからご覧いただけます■ ⇒<https://www.c-courage.co.jp/service/strengths-finder/>

■企業導入事例はこちらからご覧いただけます■ ⇒<https://www.c-courage.co.jp/work/answer-2/>

4項目を判定して、いろんな資質と紐付けて行きたいと思います。本日はありがとうございました。

(M・Tさま)

・自分の強みに対する理解が深まったと思います。今後は強みにフォーカスし、弱い部分は補う方法を考えたいと思いました。また、特に印象に残ったのはスターの話です。今までは弱点を克服する事を考えがちだったので、今後は強みにフォーカスしたいです。また、自分の強みは強みとして意識せずに自然にやっていることだったので、再認識できたのは大きな収穫でした。ありがとうございました。

(K・Sさま)

・目的に向かって、自分の強みを意識的に活用・活性化することの重要性を学んだことが一番の収穫です。世の中には、多様な魅力を持った人材に溢れていることが実感でき、嬉しく思いました。こと本テーマに関しては、集合研修こそ実りにつながるものと思います。また熱意と親密さを感じるファシリテーションで、多くの人に学びの効果を期待できると思いました。

(武田響さま)

・自分の資質についての気付きがあり、これから組み合わせて強みにしたい。また、資質がわかるだけでこの人と仕事がしたい！と思えた。会社や友人間とでもできればいいと思った。

○自分について・・・日々の生活で気付かなかった良い点を理解することができた。さらにはTOP5にはない上位資質を理解して組み合わせて、それを好きになり、活用していきたい。

○グループ(自分以外の方)について・・・それぞれたくさんの資質を持たれていて、とても羨ましいと思いました。しかし自分にはない資質があるからこそ協力して助け合って行きていけるのだと感じました。仕事でも良いところにフォーカスを当てて、弱い部分は助けを求めて頑張ろうと思いました。

(稲月和彦さま)

・自分の資質について理解を深める事ができたのが、とても良かったです。過去の体験から考えて、自分の資質を見ると納得感が増しました。自分の資質を活かして強みとしていくということを意図的に使えるととても良いというのを体感できました。新しいチャレンジに向けて、それを活かしてやっていこうと思います。紀藤さんのかもし出す雰囲気、とても良い場になっていたと思います。ディスカッションでもみなさんと色々話せて良い時間でした。ありがとうございました。

(八木徹夜さま／フランクリン・コヴィー・ジャパン株式会社)

・✓強みも良い使い方ができるときとそうでないときがある。

■研修の内容はこちらからご覧いただけます■ ⇒<https://www.c-courage.co.jp/service/strengths-finder/>

■企業導入事例はこちらからご覧いただけます■ ⇒<https://www.c-courage.co.jp/work/answer-2/>

✓強みのレッテル貼りをしないよう気をつける

✓自分が普段自然に行っていることが「強みをいかしている」ということがわかりました。

これからは日々ふりかえり資質のいかし方を考える習慣をつけたい。

あっという間のワークショップでした。今後は自分や同僚にどのように取り入れられるか考えたいです。ありがとうございました！

(E・Hさま)

・自分の強みがあきらかになりました。ぜひ社内でも他の人達に受けてほしいです。

○資質 TOP5： 未来志向、内省、最上志向、共感性、学習欲

○強み： 自分のビジョンを語り、周りの人たちをワクワクさせること。

○そのために出来ること： 未来志向×最上志向×学習欲にフォーカスする。

<最後のワークで気づいたこと>

私は未来志向のアンバサダーであり、継続力・忍耐力がある。

他のTOP5以外の資質を食い合わせて、夢を必ず実現させる。

(W・Iさま)

・「才能を磨いていくと強みになる」ということ。

グループワーク、ペアワークで過去の成功体験を他者に話しながら、資質について考えていくことで、より強みを具体的に深めることができた。自分の強みを武器として、意図的に活用していこうと感じた。本日は有難うございました！

(S・Tさま)

・強みを客観的に把握ができました。一緒に仕事をするメンバーにも受けてほしい。

組織運営の中で、活かしていきたいです。

・”才能を磨いて強みにする“という考え方

・Why are you a star のポイント。丸じゃなくて星でよい。

・才能・資質の上位のものは、ポケットに入っていて意識して発動させるものということ。

・“what”でなく、“why”を知るためのツールとして、普段から意識して、自分の強み・資質に向き合っていきます。

(大平孝信さま／株式会社パソナ 部長)

・まずは自分の資質を好きになる。愛することの重要性に気がきました。

自分の優れている資質を認めることはこれまで機会がありませんでした。

教条的になりがちなセミナーが多いなかで、自分の資質(強み)をまず好きになるというセミナーは初めてでした。社員や派遣スタッフへ推薦したいと思います。

(東元寿さま／コングレグローバルコミュニケーションズ 営業部 部長)

■研修の内容はこちらからご覧いただけます■ ⇒<https://www.c-courage.co.jp/service/strengths-finder/>

■企業導入事例はこちらからご覧いただけます■ ⇒<https://www.c-courage.co.jp/work/answer-2/>

・「2900」のお話にびっくりでした。私、真面目に“強み”というにフォーカスできたら最強かも・・・とひしひしと希望を感じました。ぼんやりと無意識だった自分の特徴がわかり興味がふかかったです。パワフルなだけでなく「着想」や「アレンジ」との組み合わせが素敵なんだわ、と自分で気に入りました。ありがとうございました！

(柿田京子様)

・とても有意義な時間でした。紀藤さんのおっしゃる通り、もっと時間が必要な内容だと思いましたが、わかりやすくまとめていただき、よかったです。お伝えした通り、自分の強みを生かした仕事にフォーカスしたいと思って、転職を決意したタイミングでのワークショップのご案内だったので、素晴らしい機会となりました。また自分自身だけでなく、多彩なキャラクターの皆さまの強みをお伺いできて、これからの人材育成のヒントをいただきました。

なんとなく得意だと思っていた部分を特別なものだと感じさせて頂き、もっと高めていきたいと感じました。ありがとうございました！

(A・Yさま)

・強みの理解が深まりました。今まではストレングス・ファインダーをただやって、そのままにしてしまっていたと反省しています。本日学ばせていただいたことを日常生活や仕事で意識して発揮しようと思います。また、部下の資質についても学ばせていただくことができましたが、今日頂いたお話を元に、強みを磨いてあげられるようなアプローチをしていこうと思いました。このようなセミナーは初めてでしたが非常に有意義な時間でした。ありがとうございました。また別のセミナーが会った際は、参加したいです。

(坂本賢太さま)

・あっという間でした！ ぜひたくさんの方々を受講してほしいと思います。自己理解はもちろん、他者理解も、人間関係にとっても重要だと再認識。紀藤さんをはじめとして、みんな温かく迎え入れてくれて、とっても雰囲気の良いセミナーでした。

(三浦正臣さま/郵便局/課長)

・”日々感じていること、考えていることが資質の影響を受けているのだと再認識できました。特に「ネガティブな話を聞くこと」がストレスなのですが、「ポジティブ」の資質によるものなのだと分かった時になるほどと思いました。今日の内容を踏まえ、自己理解を深めるとともに、資質 34 つを理解することで他者理解をできるようになっていこうと思います。34 の資質を理解して「コミュニケーション」の資質を伸ばしていこうと思います。

(T・Eさま)

■研修の内容はこちらからご覧いただけます■ ⇒<https://www.c-courage.co.jp/service/strengths-finder/>

■企業導入事例はこちらからご覧いただけます■ ⇒<https://www.c-courage.co.jp/work/answer-2/>

・ストレンクス・ファインターで自分の思考の癖は分かったと思います。少しずつでも楽しく生きていくために、使っていきたいと思います。これからの人生と人を知るために使いたいと思います。人と他人はこんなにも違うのかということを知るためには、非常に有用なツールだと思います。自分の考え方の癖を学ぶことができました。

(長浜広貴さま)

・自分を責めがちというところから、回復志向や責任感をストレンクス・ファインターとして認識して活かしていくということが、2回通して最大の発見でした。

しかしこれはけっこうな転換なので、引き続き意識して行動していくことが大事で、とっかかりをつかめたけど、コーチングとまではいかずとも何か思い出す機会などがまたあるとうれしいと思いました。

個人として参加するのにハードルが高くない曜日と価格でこのようなワークショップをしていただき、とてもありがたかったです。ありがとうございました。

(J.Dさま)

・やすさんの独自の言葉でお話をされていて、とてもおもしろかったですし、記憶に残る一日でした。Ex)星、つばさくんの話、ご家族の話、ご自身の経験談ストレンクス・ファインターの用語を、ちゃんと理解を深くされているなど尊敬の想いで説明を伺っていました。

Thank you so much!!

(石田梓さま)